

脳画像解析ソフトウェア“RAPID”を導入しました

RAPID とは、救急搬送された患者様の CT や MRI の画像から、すでに脳梗塞になっている領域と治療しないと脳梗塞になる可能性がある領域を自動で算出、表示することができる全自動脳画像解析ソフトウェアです。

RAPID は海外で多くの大規模臨床試験にて評価された米国製ソフトウェアで、全世界で 100 カ国以上、1800 施設以上の病院に導入されています。日本では 2019 年に薬事認証を受けたばかりで、まだ国内の施設には殆ど広まっておりません。その RAPID を当院ではいち早く導入し(2021 年 12 月)、患者様への治療の質をさらに向上させる体制を強化いたしました。

RAPID は DAWN や DEFUSE3 などの国際的な大規模臨床試験において患者選択基準に使用された実績があり、世界で最もエビデンスが高い脳画像解析ソフトウェアとされています。欧米の脳卒中ガイドラインには、RAPID による画像診断により発症後最大 24 時間までの患者様に急性期脳血栓回収治療の効果を認めるとの記載があります。国内では 2020 年 3 月に関連学会より通知された「経皮経管的脳血栓回収機器適正使用指針第 4 版」にその内容が記載されています。従来の治療時間枠を超えている急性期脳梗塞の患者様でも、RAPID で脳灌流画像を解析することで治療の対象となる可能性があることが示されています。

RAPID は、急性期脳梗塞治療をより効果的により安全に行えるための診断補助ツールとして世界中で使用されています。

